

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2005-334100 (P2005-334100A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-048
 【出願番号】特願 2004-154111 (P2004-154111)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 23 日 (2007.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気的駆動源の駆動力によって遊技球を遊技領域に発射する打球発射装置と、
 打球発射操作を行う発射操作部と、
 発射操作部からの発射勢入力情報に基づく発射勢で、予め設定された所定間隔毎に遊技球の発射動作をするよう打球発射装置を制御する発射制御手段と、を備えた遊技機において、
前記打球発射装置は、
遊技者により回動操作されることでその発射勢を調整可能な操作ハンドルと、
該操作ハンドルの回動量を検出し、該回動量を発射勢入力情報として前記発射制御手段に出力する回動量検出器と、を備え、
前記発射制御手段は、
前記回動量検出器によって検出されて入力された発射勢入力情報が、予め設定された基準値を超えた場合に、当該基準値を超えた発射動作の次の発射動作について、入力された発射勢入力情報は担保させた状態で、かつ、遊技球の発射間隔を前記所定間隔よりも長く設定して発射制御するようにした、
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技領域を区画するとともに、前記打球発射装置により発射された遊技球を遊技領域に案内するガイドレールを備え、
該ガイドレールによって区画された遊技領域の右側上方部に立体的装飾部材を配置し、
該立体的装飾部材は、画像表示領域が臨む開口部が形成されたセンターケースと一体的に構成され、
前記予め設定される基準値は、打球発射装置により発射された遊技球が前記ガイドレールの頂点を通過し、前記立体的装飾部材に強く衝突する発射勢に設定した、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、電気的駆動源の駆動力によって遊技球を遊技領域に発射する打球発射装置と、打球発射操作を行う発射操作部と、発射操作部からの発射勢入力情報に基づく発射勢で、予め設定された所定間隔毎に遊技球の発射動作をするよう打球発射装置を制御する発射制御手段と、を備えた遊技機において、前記打球発射装置は、遊技者により回動操作されることでその発射勢を調整可能な操作ハンドルと、該操作ハンドルの回動量を検出し、該回動量を発射勢入力情報として前記発射制御手段に出力する回動量検出器と、を備え、前記発射制御手段は、前記回動量検出器によって検出されて入力された発射勢入力情報が、予め設定された基準値を超えた場合に、当該基準値を超えた発射動作の次の発射動作について、入力された発射勢入力情報は担保させた状態で、かつ、遊技球の発射間隔を前記所定間隔よりも長く設定して発射制御するようにした、ことを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項2に記載の発明は、上記した請求項1に記載の発明の構成に加えて、遊技領域を区画するとともに、前記打球発射装置により発射された遊技球を遊技領域に案内するガイドレールを備え、該ガイドレールによって区画された遊技領域の右側上方部に立体的装飾部材を配置し、該立体的装飾部材は、画像表示領域が臨む開口部が形成されたセンサーケースと一体的に構成され、前記予め設定される基準値は、打球発射装置により発射された遊技球が前記ガイドレールの頂点を通過し、前記立体的装飾部材に強く衝突する発射勢に設定した、ことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、無駄球発射制御手段は、無駄球抑制信号の入力に基づき、発射勢入力情報が基準値を超えた場合に、遊技球の発射間隔を通常の発射間隔よりも長くなるように変更する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、基準値を超え、更に発射勢が強まると、これに連動して発射間隔も長くなるので、無駄球を発射していることを有効に報知することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、立体的装飾部材に当たるような発射勢となると、発射間隔が長くなるので、単位時間あたりの当たる球が減少し立体的装飾部材の損傷を抑制することができる。その結果、遊技の興趣を増すために立体的装飾部材を緻密に製作しても耐性を担保させることができる。